

ほけんだより 3月

いよいよ卒園！今年から小学校に通うお子さんは、新しい環境に慣れるまでは不安もいっぱいでしょう。お忙しいですが、お子さんとの話し合いの時間をたくさん作って頂きたいものです。

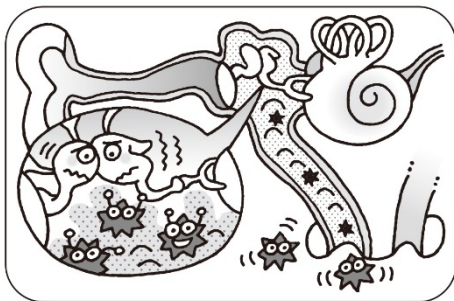
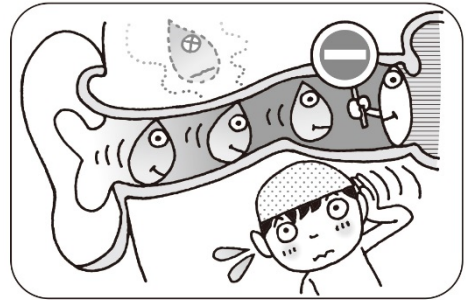
2月の病気休み

熱…1日1人 昨日熱…3日/2人 咳・鼻水…2日/1人 大事とり…1日/1人
水痘…8日4人 インフルエンザA…4日/2人

3月3日はみみの日です。そこで耳よりの話。

「耳に水が入ってとれないよ～」という経験は誰にでもありますよね？「水はどこに行くの？」「放っておいたら中耳炎になるの？」なんて考えたことはありませんか？

*正解は、耳に入った水は半日くらいで自然に蒸発します。だから放っておいても中耳炎になる事はありません。それに水がたまるのは鼓膜の手前の外耳の部分です。中耳まで水が入り込むことはありません。



「耳に水が入っても中耳炎にならないなら、どうして中耳炎になるの？」そうですね、不思議ですね。中耳炎は鼓膜の内側の病気。鼓膜というふたがあるのに、中耳炎を起こすばい菌はどこから入るのでしょうか？

*鼓膜の内側（中耳）と鼻の奥は管でつながっています。この管を耳管と言います。カゼをひくと鼻水のばい菌がこの耳管を通して中耳に入り、炎症を起こします。これが中耳炎です。何よりの予防はかぜをひかない事。鼻水をすすったり、ためたりしないでこまめにかむ事。鼻をかむときは片方ずつ、ゆっくりかむ

ことも忘れずに。



音を聞く



バランスを保つ

* 緑丘保育園ではうさぎぐみで《はなかみ指導》をしています。